※令和４年度以降入学生用

学校番号	204

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学 A	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　数学 A　（実教出版）						
副教材等	スパイラル　数学Ⅰ＋Ａ　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

いったん苦手意識は隣に置いておきましょう。
高校数学では，新しい定義(決まり)が出てきます。新しい定義に対して，素直に自分の中に取り入れ，主体的に演習で使ってみることがとても重要になります。ぜひ実践していきましょう。
また，基本的な計算や，読み書きができているのは，小学校から時間をかけて，たくさんの量を解いてきたからです。新しい知識に対しても，高校 3 年間という短い期間ですが，同じ問題でいいので，たくさん解いて波に乗っていきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】
不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度,粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

※令和４年度以降入学生用

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	場合の数と確率	場合の数 ・集合と要素 ・集合の要素の個数 ・場合の数 ・順列 ・組合せ	a:○いろいろな組合せの問題に対し，組合せの記号を用いて表し，その総数を求めることができる。 ○場合の数，順列や組合せについての基本的な概念，法則・定理，用語・記号などを理解し，基礎的な知識を身に付けている。 ○順列や組合せの総数が求められる。 b:○順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。 ○積の法則・和の法則が，順列の基本であることを認識できる。 ○場合の数の求め方に見通しをもち，場面に応じた式をたてて計算ができる。 c:○順列や組合せの意味を理解し，公式を導く過程に興味を示す。 ○積の法則・和の法則を理解	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期			し，具体的な場合に応用しようとする。			
1学期	場合の数と確率	確率 ・事象と確率 ・確率の基本性質	a:〇試行の独立や条件つき確率の意味を理解している。 b:〇起こり得る場合の数について，「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に数えあげる方法を見いだし，考察することができる。 〇簡単な事象の確率を求めたり，その求め方を説明したりすることができる。 c:〇確率の考え方のよさを認識して，いろいろな事象の考察に活用しようとする。また，反復試行や条件付き確率の考え方について関心をもつ。 〇起こり得る場合の数を，もれや重複がないように，見通しをもって，能率的に調べようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	場合の数と確率	確率 ・独立な試行とその確率 ・条件つき確率と乗法定理 ・期待値	a:〇反復試行の確率や条件付き確率の計算ができる。 〇確率についての概念，定理，用語，記号などを理解している。 b:〇期待値を求め，意思決定に活用することができる。 〇いろいろな場面に応じて，場合の数や確率の求め方を考えることができる。 c:〇確率の考え方のよさを認識して，いろいろな事象の考察に活用しようとする。また，反復試行や条件付き確率の考え方について関心をもつ。 〇起こり得る場合の数を，もれや重複がないように，見通しをもって，能率的に調べようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	図形の性質	三角形の性質 ・三角形と線分の比 ・三角形の重心・内心・外心 ・メネラウスの定理とチェバの定理	a:○三角形についてのいろいろな性質について理解している。 ○重心，内心，外心の存在や，それぞれに関わる性質について理解している。 ○メネラウスの定理，チェバの定理について理解している。 ○三角形について，いろいろな線分の比や長さを求めることができる。 ○重心，内心，外心の性質を用いて，角の大きさや線分の長さを求めることができる。 ○メネラウスの定理，チェバの定理を利用して，線分の比や長さを求めることができる。 b:○三角形の角の二等分線と線分の比の性質について，その証明を通して考察することができる。 ○重心，内心，外心などの存在や性質について，その証明を通して考察することができる。 ○メネラウスの定理，チェバの定理について，その証明を通して考察することができる。 c:○三角形のさまざまな性質について，いろいろな方法で調べようとする。 ○平面図形の性質に興味・関心をもち，三角形の性質を利用しようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	図形の性質	円の性質 ・円に内接する四角形 ・円の接線と弦のつくる角 ・方べきの定理 ・2 つの円	a:○円のもついろいろな性質について理解している。 ○2つの円の位置関係や共通接線について理解している。 b:○図形の問題に対して，円のさまざまな性質を用いて考察することができる。 ○2つの円の位置関係について，2円の半径と中心間の距離との関係に着目して分類することができる。 ○円についてのさまざまな性質を用いて，図形の問題を処理し，解決することができる。 ○2つの円の性質などから，いろいろな線分の長さを求めることができる。 c:○円の性質について興味・関心をもち，それらの性質について調べようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
3学期	図形の性質	空間図形 ・空間における直線と平面 ・多面体	a:○空間図形について，直線や平面の位置関係を答えたり，2直線や2平面のなす角を求めることができる。 ○正多面体の定義と種類やオイラーの多面体定理について知っている。 ○直線と平面の決定条件や位置関係について理解している。 b:○空間図形の問題を，平面図形や空間図形の性質を用いて考察することができる。 ○直線や平面を決定する条件について，考察することができる。 ○空間図形の問題を，平面図形や空間図形の性質を用いて処理し，解決することができる。 c:○空間図形の問題を，平面図形や空間図形の性質を用いて解決しようとする。 ○空間図形について，直線や平面の位置関係やなす角について，進んで調べようとする。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度